

10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が実施されました。物価高騰など、厳しい社会情勢の中でも、多くの皆さまにご協力いただきました。本当にありがとうございます。

赤い羽根共同募金は、集まった募金の約8割が久留米市内で、残りの約2割が福岡県内や事務費として活用されています。

## 赤い羽根共同募金 (一般募金)

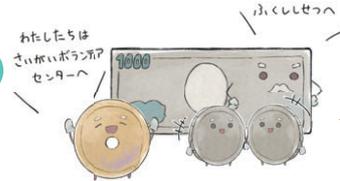
令和4年度より約0.10%増加

# 57,216,097円

【募金期間】

令和5年10月1日～12月31日

約2割



※福岡県内や事務費として活用

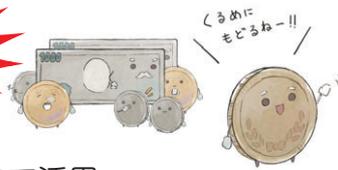
広域配分

- ・県内入所福祉施設等へ  
**6,294,154円**
- ・災害等準備積立金  
**2,183,269円**

事務費

- ・校区分会募金推進費  
**2,748,000円**
- ・支会事務費  
**1,824,530円**

約8割



※久留米市内で活用

ボランティア団体への補助等  
**3,627,000円**

校区の福祉活動への補助等  
**36,996,000円**

久留米市社協広報事業等  
**3,543,144円**

# 赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金

実績報告



久留米市は46校区で募金活動を行なっており、各校区で集められた募金の半分は、翌年にその校区の福祉活動に活用されています。

見守り訪問活動・いきいきサロン・子どもと高齢者の交流事業など、共同募金を活用した活動は様々です。

その他、久留米市内で活動されているボランティア団体への支援や、広報紙「くろめ福祉」などにも共同募金は活用されています。

また、残りの約2割は、福岡県内の福祉施設の車両や備品準備等に活用されたり、大規模災害が起こった際に被災者支援ができるよう、災害等準備金としても積み立てられています。

久留米市では令和5年7月に豪雨災害が発生し、災害ボランティアセンターを開設しました。被災された皆さんの生活環境の回復に向けて活動し、その際の運営費としても共同募金は活用されました。

## みんなの想いが集まって

12月22日、久留米市立竹野小学校において、共同募金の贈呈式が行われました。

令和5年7月の豪雨により土砂崩れが発生し、大量の土砂が竹野校区を襲いました。少しでも地域の役に立てればと、竹野小学校では、募金活動を行いました。

受け取った竹野校区社会福祉協議会(会長:横溝 裕子様)は、大切に使うことを約束。募金と一緒に皆さんの想いを受け取りました。



竹野小学校での贈呈式の様子

〔赤い羽根共同募金 特集〕